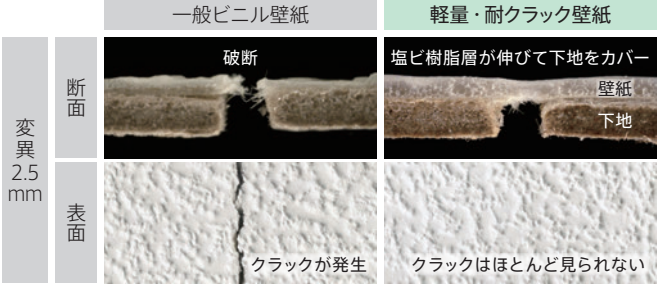
軽量・耐クラック

ひび割れをカバーし、きれいをキープ

特殊配合により、塩ビ樹脂層が伸びて、下地の動きに追従。
軽微なひび割れをカバーし、お部屋をきれいに保ちます。

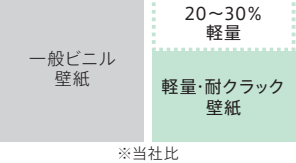
■耐クラック性比較



《試験方法》
壁紙を両面テープで厚紙に貼った試験片に対して引張試験を行ない、
壁紙の状態変化(裂け具合)を評価。(引張速度 : 3mm/min)

軽く天井施工がらくらく

20～30％の軽量化を実現。
厚みもあり、天井施工がらくらく。
運搬時の負担も軽減します。



※当社比

■使用上のご注意

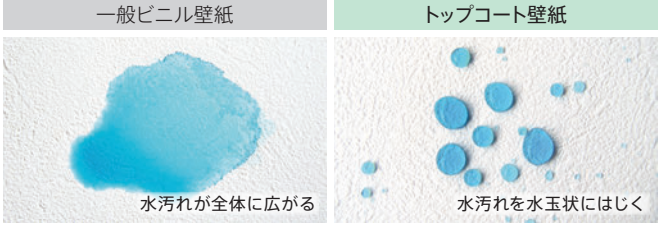
・ひび割れが起きないことを保証するものではありません。
・長期間使用による劣化や硬化によって機能が発揮できない場合があります。
あらかじめご了承ください。

撥水トップコート

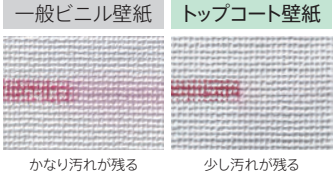
汚れがつきにくく、拭き取りやすい

汚れに強い撥水トップコートが、お部屋をきれいに保ちます。
施工糊も拭き取りやすいため、仕上がりがきれいです。

■撥水性比較



■クレヨン汚れ落ち比較



かなり汚れが残る　少し汚れが残る

《試験方法》
壁紙工業会制定
「汚れ防止壁紙性能規定」に準拠。
汚れ付着24時間後に中性洗剤・歯ブラシなどで拭き取り、目視で判定。

《判定基準》
5級 : 汚れが残らない
4級 : ほとんど汚れが残らない
3級 : やや汚れが残る
2級 : かなり汚れが残る
1級 : 汚れが濃く残る

※表面に防汚フィルム加工を施し、
且つ、「4～5級」の性能を有することが
「汚れ防止」の規定です。

■使用上のご注意

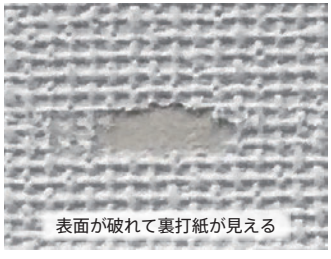
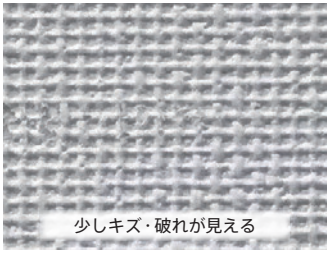
・一般ビニル壁紙に比べ汚れにくくなっていますが、壁紙業界規格の「汚れ防止(4～5級)」の性能には至りません。撥水トップコート品は、概ね3～4級レベルに相当します。
・長時間付着し浸透した汚れや頑固な油汚れは、一般ビニル壁紙同様落とすことができません。
・何度も拭き取ると目に見えない微細な傷がつき、汚れ落ち性能は低下します。お含みおきください。

表面強度アップ

キズに強く、丈夫で長持ち

一般ビニル壁紙に比べ、表面が丈夫でキズがつきにくい。
破れを軽減し、お部屋をきれいに保ちます。

■表面強度比較

一般ビニル壁紙	表面強度アップ壁紙
	

《試験方法》
壁紙工業会制定「表面強化壁紙性能規定」に準拠。
学振型摩擦試験機に指定のステンレス製ツメを取り付け、
200gの荷重で壁紙表面を5往復し、表面の傷つき具合を評価。

《判定基準》
5級：一見視で特に変化が見られない
4級：多少表面傷が見られるが、比較的大きな表面層の破れ等は見られない
3級：表面層の破れが明確に見える
2級：表面が破けて紙等の裏打材が明らかに見える（長さ１cm未満）
1級：表面が破けて紙等の裏打材が明らかに見える（長さ１cm以上）

※「4～5級」の性能を有することが「表面強化」の規定です。

■使用上のご注意

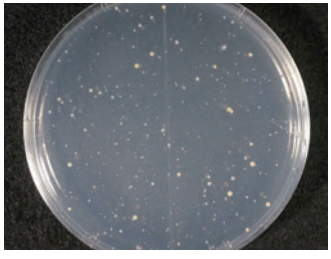
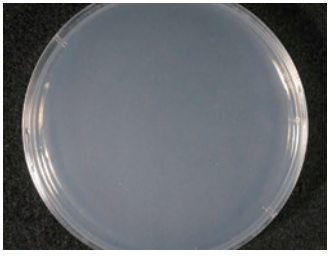
・一般ビニル壁紙に比べ、キズに強い特長がありますが、壁紙業界規格の「表面強化（4～5級）」の性能には至りません。表面強度アップ品は概ね3～4級レベルに相当します。
・エンボス形状や製造ロットなどにより試験結果にバラツキが生じます。あらかじめご了承ください。

抗菌

細菌の繁殖を抑制

壁紙の表面に付着した細菌の繁殖を抑制します。
お部屋を清潔できれいに保ちます。

■抗菌性比較

一般ビニル壁紙	抗菌壁紙
	

■抗菌性能基準

試験菌	試験開始時の生菌数（個／cm^2）	試験後の生菌数（個／cm^2）
大腸菌	6.2×10^3～2.5×10^4	0.63未満
黄色ブドウ球菌	6.2×10^3～2.5×10^4	0.63未満

《試験方法》
壁紙工業会制定「抗菌壁紙性能規定」に準拠。
壁紙の表面に試験菌液を滴下し、温度35±1℃、湿度90％以上で24±1時間培養。
培養後の生菌数を測定し「0.63未満」の性能を有することが「抗菌」の規定です。

※試験の数値は、開始時には6,200～25,000個あった菌数が、24時間後にはほぼ0に近い状態まで減少する性能があることを示しています。

■使用上のご注意

・抗菌性の壁紙は、これを使用することによって掃除の必要がなくなるというものではありません。
・抗菌性壁紙の抗菌効果は、壁紙に付着した細菌の増殖を抑制するものであり、感染を直接阻止するものではありません。